

南部青ルート車両更新について

前回（第36回）地域公共交通会議にて、本町は令和3年2月2日に「武豊町ゼロカーボンシティ宣言」を行ったことから、環境によりよい車両選択の検討を進めていくこととしました。

（検討結果）

南部青ルートの車両については、安全性、導入コストの比較、国庫補助金の活用、導入事例など、様々な可能性の検討を進めたうえで、電動バス導入の選択となりました。

令和3年5月の武豊町議会臨時会において、下記の電動バス導入に向けた予算科目について補正予算を上程し、5月11日に可決されました。

科目名
光熱水費
コミュニティバス電動バス導入支援委託料
充電器設置工事
舗装工事
コミュニティバス（車両本体）

◎コミュニティバス電動バス導入支援委託料について

本町が、令和3年2月2日に行った「武豊町ゼロカーボンシティ宣言」に明記する住民・地域・企業・行政が一体となって二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すために、電動バスを導入するための支援委託業務に係る予算。

（支援業務内容について（一部抜粋））

1. 補助金申請支援

国土交通省の自動車環境総合改善対策費補助金（地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車の普及促進事業）を活用する際の「交付申請書」、「事業実績報告書」作成補助

2. 電動バスの契約に関する検討支援

電動バス売買契約書の検討・作成支援

3. 充電器の購入・設置工事に関する検討支援

電動バスの充電方式に準拠した充電器の選定と報告を行うとともに、充電器設置工事に関する支援

4. 電動バス運行に関する検討支援

電動バスの1日あたりの電力消費量と選定した充電器における充電量から、1日の充電計画案作成等の支援

※コミュニティバス電動バス導入支援委託業務の契約締結について

契約については、長野県飯田市において電動バスの導入をした実績のある「中部電力株式会社」と契約締結を行いました。

※国土交通省の「自動車環境総合改善対策費補助金」申請について(経過)

令和3年4月21日、国土交通省へ自動車環境総合改善対策費補助金のための「事業計画書」を提出しました。